

報道関係各位

2026年10月9日
一般社団法人 日本電気計測器工業会

一般社団法人 日本電気計測器工業会が推進する 新たな情報発信・交流プラットフォームの構築に向けた取り組み

近年、DXの加速やAIの急速な進化により、産業界を取り巻く環境は大きく変化しています。また、企業単独では解決が難しい社会課題や技術課題が増加し、業界・企業・世代の垣根を越えた共創の重要性が高まっています。こうした環境変化を踏まえ、一般社団法人 日本電気計測器工業会(会長:奈良 寿)は、展示会活動を含む広報事業のさらなる発展を目指し、新たな情報発信・交流プラットフォームの構築を推進します。具体的には、当工業会は「計測展 NEXT」を核として、展示会に加え、情報発信、人財育成、産学連携、交流・共創をつなぐプラットフォームの形成を目指します。長年にわたり開催してきた計測・制御分野の専門展示会「計測展 OSAKA」の実績と伝統を継承しながら、その機能を大きく発展させ、従来の展示会の枠組みを超えた新たな取り組みを進めます。本取り組みでは、企業、行政機関、研究機関、教育機関、学生、ユーザーなど多様なステークホルダーが集い、学び、交流し、新たな価値を共創する場の実現を目指します。「計測展 OSAKA」で培った開催ノウハウやネットワークを最大限に活用しながら、時代や社会の変化に対応した多様なニーズを取り入れ、業界の発展と社会課題の解決に貢献する新たな情報発信・交流事業へと発展させてまいります。

計測展OSAKAは、「計測展NEXT」へ！ 計測・制御・情報のフェスティバル！「計測展 NEXT 2026」開催 ～情報発信と交流・共創を核に、新たな価値創造の場を提供～

「計測展OSAKA」から「計測展NEXT」へ。計測展は新たなステージへ進化します。計測・制御・情報のフェスティバル「計測展NEXT 2026」を、2026年10月21日(水)～10月23日(金)までの3日間、グランキューブ大阪にて開催します。展示および各種講演による最新の情報発信と交流を2つの柱として、DXの加速、AIの進化、そして社会・産業の大変革時代において、AIやDXの価値創出を支える「計測・制御・情報」の力を結集し、製品や技術の紹介にとどまらず、“学び・考え・つながる”場として進化します。「NEXT=未来」の種を持ち寄り、共に育てる新しいスタイル・価値・可能性を発信する—そんな「ワクワク」する熱気あふれるフェスティバルを目指します。

～サイバーセキュリティ・AIなどの最新技術テーマ展示ゾーンを含む製造現場のDX推進に寄与する製品・ソリューションの展示を充実～

～イノベティブな発想やアイデアを創出する交流実現のための多彩な「共創プログラム」も新設～

今回新設する「共創プログラム」では、企業・団体・学生・研究者・ユーザーが参加し、各分野の最前線で活躍する人財が交流し、“ワクワク”するようなイノベティブな発想やアイデアの創出を目指します。グランキューブ大阪10階フロア(見学ツアーは3階)を使い、多彩な交流・体験型プログラムを用意しております。当工業会は、計測展NEXT 2026を通じて、計測・制御・情報分野に携わる多様な人々が集い、学び、交流し、新たな価値を共創するコミュニティの形成を目指します。そして業界の発展だけでなく、DX、GX、社会インフラ、人財育成などの社会課題解決にも貢献する新たな情報発信・交流プラットフォームへと進化してまいります。

◆ 本展示会の見どころ

【DX 推進】現場 DX の「答え」がここにある ～明日から使える解決策を、実機とデモで体感～

進化する計測・制御技術に、クラウドや IoT、AI などの先端デジタル技術が融合。生産性向上、省人化、予知保全など、現場の課題を解決する最新ソリューションが集結します。

<来場者メリット>「DX は何から始めればよいか」「自社でどう活用できるか」という疑問に対する、具体的な一歩が見えてきます。

【AI 活用】AI が変える現場とビジネスの未来 ～「AI で何ができるか」から「どう実現するか」へ～

異常検知や予測制御、データ分析など、製造業や社会インフラの未来を支える AI ソリューションが勢揃い。技術の紹介にとどまらず、新たな価値創造やビジネス変革の事例をお見せします。

<来場者メリット>現場の効率化から経営の変革まで、自社の生産性と創造性を劇的に高める「実践的な AI 活用法」が手に入ります。

【サイバーセキュリティ】生産現場を守る、サイバー防衛最前線 ～「止めない工場」を実現する具体的な対策～

DX や AI 活用が進む一方で、サイバー攻撃のリスクは高度化しています。工場やプラントを守ることは、今や経営上の最重要課題です。

<来場者メリット>テーマ展示ゾーンに OT(制御システム)セキュリティの専門家が集結。リスク診断から防御・インシデント対応まで、自社に最適な防衛策を直接相談できます。

【産学交流】未来を担う学生・若手人財との出会い ～次世代の技術者・研究者と直接つながる～

計測展 NEXT 2026 には、多くの理工系学生や若手研究者が参加します。大学・高専研究室によるポスター展示やライトニングトークなど、多彩な交流企画を通じて、出会いの場を創出します。

<来場者メリット>新たな発想に触れられるだけでなく、未来の産業界を担う人財と直接つながり、共創の足がかりを築くことができます。

【共創プログラム】共創から生まれる次のイノベーション ～業界の枠を超えた新企画～

企業・ユーザー・研究者・学生など、多様なプレイヤーが業界の枠を超えて交流する新企画「共創プログラム」を新設します。本プログラムは、業界団体主催による新たな情報発信・交流イベントへの改革を象徴する取り組みとして新設および大幅に拡充しました。

グランキューブ大阪 10 階フロアを中心に、対話・体験型プログラムを開催します。

<来場者メリット>思いがけない出会いから、新しいビジネスチャンスや技術アイデア、共創プロジェクトが生まれる瞬間を体験できます。

新規:計測制御の今と未来が見てわかる“ワクワク”ブース

新規:未来のビジネスを考える「共創ネットワーキング」

新規:企業の若手技術者と学生との「アイデア創出ワークショップ」

拡大:学生のための「会社研究&企業ブース見学ツアー」



◆ 開催概要

名 称：計測展NEXT 2026 (Measurement and Control Show NEXT 2026)
コンセプト：計測・制御・情報のフェスティバル
PRメッセージ：共創で築く未来へのイノベーション
会 期：2026年10月21日（水）～ 10月23日（金）10:00～17:00
会 場：グランキューブ大阪（中之島・大阪府立国際会議場）
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51
主 催：一般社団法人 日本電気計測器工業会（JEMIMA）
後 援：経済産業省 近畿経済産業局／総務省 近畿総合通信局／大阪府／大阪市／
大阪商工会議所／独立行政法人 情報処理推進機構 （順不同）
協 賛：一般財団法人 大阪科学技術センター／一般社団法人 KEC関西電子工業振興センター／
公益社団法人 計測自動制御学会／国立研究開発法人 産業技術総合研究所／
一般社団法人 システム制御情報学会／公益社団法人 自動車技術会関西支部／
独立行政法人 製品評価技術基盤機構／一般社団法人 電気学会／
一般社団法人 電子情報技術産業協会／一般社団法人 電子情報通信学会／
一般社団法人 日本機械学会／日本電気計器検定所／一般社団法人 日本電機工業会／
一般社団法人 日本電気制御技術工業会／一般社団法人 日本電設工業協会／
特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会／
ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会 （順不同）
目標集客者数：10,000人（予定）
展 示：73社・団体/154小間
セ ミ ナ ー：スポンサードセッション 1社+1団体、出展者セミナー 30社+2団体
共創プログラム
：学生ポスター展示/ライトニングトーク 18大学・2高専、協賛10社
： “ワクワク” ブース 12社
： 共創ネットワーキング 7社
： アイデア創出ワークショップ 6社、6大学
： 会社研究&企業ブース見学ツアー 協賛A：14社 協賛B：3社+1団体
： 他
入 場：事前登録制
公式サイト：<https://mcs-next.jp>

【本展に関する一般からのお問い合わせ】

一般社団法人 日本電気計測器工業会（JEMIMA）計測展NEXT委員会
担 当：竹内 TEL：03-3662-8184

【当ニュースリリースに関する報道関係者からのお問い合わせ】

計測展NEXT 2026運営事務局（日経BP）
担 当：深山 e-mail：mcs2026@nikkeibp.co.jp